



表紙写真：大字高橋 阿久津幸男さん撮影 <天満宮秋の礼大祭>

No. 148 

2013年11月23日発行

議会だより

はが

### 9月議会定例会

9月定例会概要（報告、補正予算、任命同意ほか）	……2～3
平成24年度監査委員決算審査意見・会計別決算額一覧	……4
平成24年度一般会計決算質疑応答・採決結果	……5～6
各常任委員会審査報告	……7～9
一般質問	……10
聲〈こえ〉私のいたいこと	……11
議会日誌・表紙写真募集・編集室	……12

## 一般会計補正予算など14議案を可決

# 9月定例会の概要

平成25年第6回町議会定例会は、9月3日から17日までの15日間の会期で開かれました。初日は、町長から提出された議案の提案理由の説明後、監査委員からの決算審査報告がなされ、同意案件の採決が行われました。また、執行部への一般質問を行いました。決算の認定については、各常任委員会に審査が付託され、現地調査を含め厳正な審査が行われました。審査結果は、最終日に議長への報告を行い、全員により認定されました。定例会は、慎重審議の結果、全件原案のとおり可決されました。

### 〈報 告〉

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明

水沼 孝夫議員

□芳賀町ロマン開発(株)の経営状況説明

小林 一男議員

水沼 孝夫議員

□平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率の説明

(質疑なし)

### 〈条例改正〉

□芳賀町消防団の定員、任免、給与と服務等に関する条例の一部改正

□内容 消防団員が本町に居住しなくなった場合でも、本町の消防任務を充分に果たすことができると認められる場合は、本町の消防団員として任用することができるよう条例の一部改正を行うものです。

また、欠格条項に「6ヶ月以上の長期にわたり居住地を離れて生活することを常とする者」分に「当該消防団の区域外に転住したとき」という居住要件がありますが、それらを削除するものです。(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀地区広域行政事務組合規約の変更について

□内容 現在建設中の芳賀地区広域事務組合ごみ処理施設のうち、最終処分場を除く施設が平成26年4月稼働の予定であるため、規約第3条に規定する組合の共同処理する事務の内、ごみ処理施設建設に関する事務を削除し、ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務を新たに共同処理する事務に追加するものです。(質疑・討論なし可決)

### 〈補正予算〉

□平成25年度芳賀町一般会計

□内容 総額に、1億3,545万8千円を追加し、予算総額を68億3,970万円とするものです。

主な歳入は県支出金1,290万4千円保育士等処遇改善特例事業補助金884万8千円、防霜ファン整備のための果樹経営支援対策事業費補助金388万8千円、町債1億2,179万3千円などです。

歳入の主なものは、歳入で計上した保育士等処遇改善特例事業補助金885万1千円、ウエルネス運動教室に係る運営委託料・会場借り上げ料などに339万2千円、果樹経営支援対策事業費補助金77万6千円、梨の凍霜被害に対する災害見舞金362万円、農地・水保全管理支払交付金事業負担金1,510万円、総合運動公園内整備するグラウンド、ゴルフ場等実施設計業務委託料371万7千円などです。

増淵さつき議員

大島 浩議員

小林 一男議員

岩村 治雄議員

見目 匡議員

杉田貞一郎議員

(討論なし・原案可決)

□平成25年度芳賀町国民健康保険特別会計

□内容 総額に、3,269万8千円を追加し、予算総額を19億6,069万8千円とするものです。

歳出は、平成24年度の療養給付費等負担金や退職医療療養給付費交付金の精算に伴う返還金です。

(質疑・討論なし、原案可決)





□平成25年度芳賀町農業集落排水事業特別会計

【内容】 総額に、170万円を追加し、予算総額を2億2,629万8千円とするものです。

歳入は新規加入者からの加入金（分担金及び負担金）170万円です。

歳出は新規加入者の敷地までの接続管及び公共マス設置の工事請負費170万円です。

【質疑】 増測さつき議員  
（討論なし、原案可決）

〈工事請負契約〉

□平成24年度社会資本整備総合交付金事業 与能・八ツ木線金井橋上部工事請負契約

▼入札の方法 事後審査型条件付き一般競争入札

▼契約金額 6,699万円

▼契約の相手方 芳賀町大字東高橋4249番地戸祭建設株式会社  
代表取締役 戸祭康夫

【質疑】 小林 一男議員  
（討論なし、原案可決）

□芳賀工業団地排水処理センター電気設備修繕工事請負契約

▼入札の方法 事後審査型条件付き一般競争入札

▼契約金額 5,460万円

▼契約の相手方 さいたま市大宮区宮町一丁目114番1号

東芝電機サービス株式会社北関東支店

支店長 草場 亮伸

【質疑】 小林 一男議員  
（討論なし、原案可決）

〈議員発議〉

□「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

（質疑・討論なし、原案可決）

□道州制導入に断固反対する意見書  
（質疑・討論なし、原案可決）

〈任命同意〉

□芳賀町教育委員会委員

【内容】 平成21年から1期4年間ご尽力をいただきました黒須真理氏が10月31日付けをもって任期満了となるため、後任として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、小林浩行氏（西水沼）を芳賀町教育委員会委員に任命することに同意しました。



小林 浩行氏

賛否の公表 第6回定例会案件の採決結果

\*小林隆志議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決年月日	採決結果	水沼孝夫	北條勲	市川宗司	小林一男	石川保	増測さつき	直井一之	小林俊夫	岩村治雄	杉田貞一郎	小林信二	大島浩	見目匡	賛成	反対
第6回定例会 第8号	道州制導入に断固反対する意見書について	9/17	多	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	10	3



# 平成24年度会計別決算額

(単位：千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	8,376,021	7,682,656	693,365	
国民健康保険特別会計	2,051,468	1,924,511	126,957	
農業集落排水事業特別会計	229,493	220,269	9,224	
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	135,132	130,660	4,472	
介護保険特別会計	保険事業勘定	1,215,010	1,167,809	47,201
	サービス事業勘定	12,498	8,185	4,313
公共下水道事業特別会計	226,929	218,277	8,652	
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	163,726	160,610	3,116	
宅地造成事業特別会計	19,846	19,735	111	
後期高齢者医療特別会計	130,499	126,436	4,063	
計	12,560,622	11,659,148	901,474	

## 平成24年度決算審査意見(抜粋)

監査委員 榎谷 力  
監査委員 杉田貞一郎



榎谷 力代表監査委員

本町の財政構造については、比較的健全に運営されており、第5次芳賀町振興計画の後期2年度目として、重点施策の着実な実行を図りながら、基本理念に基づき、各種事務・事業等歳出につきましても、計数的な過誤もなく概ね誠実な執行が行われていると認識いたしました。

平成24年度単年度財政力指数は「0.969」、健全化判断比率におきましては、実質公債比率7.6%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。

しかしながら、財政の根幹をなす町税は、景気低迷等で厳しい状況であります。町税の中で、特に大きなウエイトを占めている町民税は前年より約2億700万円の増となりましたが、景気の動向に左右され予断を許さない状況です。平成24年度の町税収入は、前年度より3.4%増加し、前

年度比約1億3,958万円の増収となり、約42億9,282万円が収納されました。一般会計歳入に占める町税の24年度構成比は若干増えて51.3%となりましたが、平成24年度も引き続き交付団体となり、行財政の運営は益々厳しく予断を許さない状況です。納税者である町民との共通認識を持ち、効率的で堅実な財政運営に努力をお願いいたします。なお、収税に関しましては現年課税分につきましては、3年連続で徴収率が県内第1位であります。この点は、日頃の行政努力として高く評価すべきと思います。

何点か意見を申し上げます。まず、借金である本町の地方債の残高ですが、年々計画的な減少が見られ、一般会計と3つの特別会計で、68億5,352万円です。執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。引き続き長期的な視野に立ち、健全な運営に併せ、後世への負担軽減をお願いいたします。

子育て支援の充実ですが、当町においては待機児童が無しというところで、町の重点施策が着実に推進されております。私立保育園の園舎も新しくなり、施設の充実も図られています。子育て保護者

からのさまざまな支援の要望もあると思いますが、より一層安全で安心して預けられる保育園をめざし、子育て支援の充実を図って頂きたいと思っております。

次に庁舎維持管理費において、平成24年度消費電力量が前年比△29.8%で34,650Kwh(キロワット時)減少しており、節約の効果と評価いたします。引き続き節電への協力をお願いいたします。また、職員研修事業の人材育成では、多岐にわたる研修を職員1人当り3.4回参加しています。町民満足度調査で評価が上がっているのは研修の成果が活かしているからと思われれます。職員が積極的に研修に参加できるように執行部側も職員配置にも考慮し、環境を整えるよう引き続き人材育成に努めて頂きたいと思っております。

特別会計の公共下水道及び農業集落排水事業に負担金及び使用料の未収金があります。それぞれ収納に対しての問題等はありませんが、公平負担と特別会計の原則からも今後の対応をお願いいたします。

特定健診ですが、受診率については47.3%で県内でも上位ですが、健診の結果、要精検者の再受診率は健診の種類により異なります。

が、平均で57%の現状です。健診

の目的は早期発見早期治療ですので要精検者は全て再受診するように指導の徹底をお願いしたい。

結びに、昨年の予算執行も引き続き景気低迷と大震災等が影響したなかで、健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思います。今後も厳しくなる一方の財政状況に対し、町長をはじめ執行部の皆さんが危機感を強く持ち、歳入の確保に努め、経済的で効率的かつ効果的な事務事業の執行を行って頂けるようお願いいたします。

## 平成24年度

# 一般会計決算

**質疑** 増淵さつき議員 職員の間時間外勤務の意識、削減の仕組みをどう考えるのか。

**町長** 課長等が命令で実施している。必要性を判断して実施しており、サービスの向上につながっている。

**質疑** 増淵さつき議員 生きがいサロンの参加者に送迎の支援はできないのか。

**住民生活部長** デマンド交通での送迎は検討課題です。

**質疑** 増淵さつき議員 学童保育「なかよしクラブ」が手狭であるが対策はあるのか。

**こども育成課長** 農業者トレーニングセンターの今後の活用について、耐震診断と合わせ相対的に進める中で検討したいと考えています。

**質疑** 増淵さつき議員 町民会館の階段が高齢者が利用する場合の安全対策にスロープ等の設置の考えはないのか。

**生涯学習課長** 奥の階段は荷の上げ下ろしに支障があるので、手前の階段の利用でやむを得ないが、検討課題と思われれます。

**質疑** 小林一男議員 日本脳炎の予防接種に安全性の問題により、一時接種を控えていた期間がありました。接種していない子どもがいるが通知・連絡が徹底されていない。

**住民生活部長** ワクチンが改良されたが、保護者に不安感があります。通知はしているが漏れの可能性もあるので個別通知します。

**質疑** 石川 保議員 国民健康保険未加入者の世帯数を把握しているか。

**住民課長** 実態は把握できていません。数は少ないと思われれます。

**質疑** 石川 保議員 はがチャネルの備品購入等年々経費が増えているが今後の考えを聞きたい。

**総務企画部長** なるべく職員で対応する方向で取り組み、内容質の向上に努力しています。対応しきれない部分を業者に作成委託していますが、費用的には4千2百万円程度を目安として取組んで行きたいと考えています。

**質疑** 小林俊夫議員 町体育協会が主催した競技の中で参加者が集まらなくて中止になったというような大会はあったのか。

**生涯学習課長** 体育協会主催の

事業で中止になったものはありません。町主催のスポーツ教室19種目の中で昨年度はターゲットバードゴルフが参加者が無く中止になった経緯があります。

**質疑** 水沼孝夫議員 庁舎の電力使用削減がされているが、町全体のエネルギー管理、電力・ガス・水道の管理についてのようになっているのか。

**総務課長** 現時点で電気量については全ての施設を総務課で管理していますが、それ以外については管理できていない状況にあります。

**質疑** 水沼孝夫議員 庁舎の空調機の修繕に費用がかかっている。入替えの計画はないのか。

**総務課長** 老朽化もあるので、今後大規模修繕が必要となる時に検討します。

**質疑** 水沼孝夫議員 ひばりタクシの補助金について決算報告を提示されたい。

**総務企画部長** 商工会が実施していますので、毎年度末に補助金の精査をしていますし、その際年の決算を町に報告を頂いています。

**質疑** 水沼孝夫議員 行政評価推進事業が年々事業費が少なくなってきたが行政評価が消

極的になつているイメージがあるがどう考えているのか。

**総務企画部長** システムを立ち上げた段階では入力の方、考え方等研修を重ねてきました。現在は職員もなれて、庁内での自主研修等に切り替えた経緯があります。特に改めて外部講師を呼んでの研修をやらなくなったということです。

**質疑** 水沼孝夫議員 緊急雇用対策は、継続的な雇用につながっているのか。

**商工観光課長** 明確な答は出ていない状況ではないが、制度を活用できる体制が必要と認識しているので、制度の活用は検討していきたいと考えています。

**質疑** 水沼孝夫議員 若者サポート合同面接会の経過と事業継続の考え方とサテライトオフィスを芳賀工業団地等に設置するような考えはないのか。

**商工観光課長** 若者サポート合同面接会については、町独時に実施いたしました。県の協力を得て芳賀工業団地を中心とした企業さんに芳賀町の若者の雇用してもらおうような機会を今後継続的にすすめたいと考えています。また、サテライトの設置はハローワークの端末は市町村には置けないの





で、対応内容の充実を考えていきたい。

**質疑** 市川宗司議員 自治会の加入世帯が年々減少しているが、対策はないのか。

**総務企画部長** 広報紙でのPRの他、ホームページ、芳賀チャンネル、住民課の窓口でもPRしています。自治会との連携により推進していきます。

**質疑** 北條 勲議員 分担金、負担金で歳入があつたにもかかわらず、予算補正されていない。対応を統一すべきでないか。

**建設産業部長** 総計予算主義の原則に基づき、予定額全額を予算計上しているが、3月補正に間に合わない場合がある。負担金の見込み時期は分からないが、今後とも適正な予算見積を行います。

**質疑** 北條 勲議員 資源物改修の業者引取り価格を町ホームページで掲載できないか。

**環境対策課長** 業者の単価ですので、引取りや持ち込みで違いがあります。公表ができるか調べ検討します。

**質疑** 水沼孝夫議員 住民基本台帳等のシステム改修に費用がかかっている。他市町とのシステムの共有、運用の考えはないのか。  
**総務企画部長** 全国的に検討は

され始めています。当町は、独自にシステム開発、サーバー設置しており、当面は現状で対応します。



## 議員活動レポート

### LRT整備について要望書提出

宇都宮市で進めているLRTの整備について、10月21日町議会全員協議会が開催されました。町議会ではLRTの整備を芳賀町まで延伸することを町執行部とともに要望書提出に賛同し、宇都宮市長と市議会に提出しました。今後は宇都宮市と連携し検討委員会等設置により、進めることとなります。



宇都宮市長 佐藤 栄一 様  
宇都宮市議会議員 金子 和義 様

### LRT整備に関する要望書

宇都宮市において検討を進めている東西基幹公共交通へのLRT整備は、輸送力や定時性、速達性に優れ、新たなまちの魅力となる交通システムであり、現在計画されている宇都宮テクノポリスセンター地区から芳賀町へ延伸されることにより、

- ・利便性の高い交通環境の整備
- ・地域経済の振興
- ・教育、医療、福祉など町民生活の向上等

今後における芳賀町の発展につながるものと考えられることから、次の要望をいたします。

- 1.宇都宮テクノポリスセンター地区から芳賀町への延伸について、宇都宮市と芳賀町が協力・連携しながら、ともに検討を進めていくこと。
- 2.延伸区間については、将来的に真岡鉄道との接続を見据えた区間としていくものの、宇都宮市と隣接、近接した工業団地までの区間を当初延伸区間として検討していくこと。
- 3.当初延伸区間については、宇都宮市と同時期での整備としていき、早期の運行を目指していくこと。

平成25年10月22日

芳賀町長 豊田 征夫  
芳賀町議会議員 小林 隆志

# 総務常任委員会審査報告書

## 書類審査

9月10日（火）

- ①企画課
- ②総務課
- ③税務課
- ④会計課
- ⑤議会事務局・監査委員事務局



< 書類審査 >

## 現地調査

9月12日（木）

- ①JRターミナル（芳賀台）
- ②メガソーラー予定地（下高根沢）
- ③上水道芳志戸浄水場
- ④上水道芳志戸配水池



< JR ターミナル >



< 上水道 配水池 >



< メガソーラー予定地 >

審査の結果：下記の意見を付けて認定すべきと決定

### 審査の意見

光の道事業においては、これまでに町内の多くの世帯に環境整備がなされ、芳賀チャンネルの内容も充実してきている。

しかし、議場内における電気関係設備は、設置から27年経過していることから老朽化が原因と思われる不具合が見受けられるようになり、議会進行への影響や、さらには芳賀チャンネル視聴者に対しても正確な情報伝達が懸念される。

議会審議内容の公開は、行政執行の透明性を保つうえで大変重要である。今後も、本会議において支障をきたすことのないよう、十分に調査を行い、必要に応じ機器の改修・更新等により、早期解消を図られたい。

# 教育民生常任委員会審査報告書

## 書類審査

9月6日（金）

①生涯学習課

9月9日（月）

②健康福祉課

③住民課

④環境対策課

⑤こども育成課



< 書類審査 >

## 現地調査

9月12日（木）

①広域ゴミ処理施設

②海洋センター

③芳賀東小学校

④町民会館



< 広域ゴミ処理施設 >



< 町民会館 >



< 広域ゴミ処理施設 >

**審査の結果：下記の意見を付けて認定すべきと決定**

### 審査の意見

- 1 国民健康保険料が、12年ぶりに改定がなされた。少子超高齢化社会が進行している中、町民の保険料負担増により、短期被保険者証の交付も増加することが懸念される。長期にわたり安定した国保財政となるよう、適切な運営を心がけられたい。
- 2 広域ごみ処理施設が、平成26年4月から供用開始となるが、今後は処理に伴う負担金の増加が予想される。分別の徹底により、ごみ減量化に取り組みながら、資源物回収団体支援事業をより多くの町民にPRし、資源物の回収処理量の増加や、生ごみ処理事業等の充実及び拡大に努め、環の町芳賀のより一層の推進を図られたい。



# 産業建設常任委員会審査報告書

## 書類審査

9月11日（水）

- ①都市計画課
- ②商工観光課
- ③建設課
- ⑤農政課



<書類審査>

## 現地調査

9月12日（木）

- ①五行地区農集排水処理施設
- ②免の内堰
- ③かしの森公園
- ④与能・八ツ木線金井橋下部工
- ⑤友遊はが物産館



<五行地区農集排水処理施設>



<かしの森公園>



<金井橋下部工>

審査の結果：下記の意見を付けて認定すべきと決定

### 審査の意見

- 1 かしの森公園トイレ改修工事等については他の工事と比較して割高感が否めない。  
今後、公共工事発注については費用対効果の面を充分考慮し、コスト削減に努められた。
- 2 芳賀工業団地排水処理センターは、建設後20数年経過し、設備等を毎年補修しているものの、老朽化が進んでいるため、今後年次計画書を策定して計画的に進められたい。



### 増淵 さつき 議員

# 子どもへの安全対策を伺う!

## 町 さらに児童、生徒への安全確保に配慮

**問**

9月1日は防災の日です。東日本大震災発生から二年が経ち、その教訓を踏まえ見直しを行った「芳賀町地域防災計画」について伺います。

①土砂災害や水害発生時の避難勧告基準は、見直し前からどう変わりましたか。

②各家庭に配布された「鬼怒川・五行川ハザードマップ」について、近年のゲリラ豪雨に対応した内水ハザードマップこそ必要なのではないでしょうか。

③要援護者に配慮した「福祉避難所」の指定はされているのでしょうか。

④大田原市では救急救命や避難経路の確保といった知識を備える民間資格防災士の取得への助成を始めます。町でも自治会ごとに助成したらいいかでしょうか。

⑤道の駅もてぎに防災館がオープンしました。道の駅はが防災拠点として活用する考えはないのでしょうか。

県指導のもと

具体的な発令基準を策定

**答**

芳賀町防災会議での審議及び県消防防災課との協

議を経て平成25年3月に計画を策定しました。

①以前の計画では、避難勧告の基準が具体的な基準ではなかったため、県指導のもと、避難勧告等の判断、伝達マニュアルを策定しました。

②芳賀町は地形的な条件等、内水氾濫より外水による洪水の可能性が大きいと考えます。現在の洪水ハザードマップを有効活用し、防災対策を行います。防災備蓄品については冠水の危険がない所に備蓄していきます。

③町内の特別養護老人ホームやデイサービスセンター、グループホームなど、今後「福祉避難所」の指定を前提とした協定の締結を進めていきます。

④自治会や消防団の意向を確認しながら助成についても検討していきます。

⑤国土交通省関東整備局の先覚的な試みとして、国道に面した道の駅に防災拠点強化事業で非常用電源装置、給水タンク等を設置しています。栃木県県土整備部は、道の駅もてぎなどに太陽光発電の蓄電池を整備しています。道の駅はが、洪水時の浸水の危険性を十分考

慮して防災拠点として機能強化すべきかを検討していきます。



### 芳賀地区消費生活センター 町民の活用状況は?

**問**

本年3月27日から益子町役場敷地内に四町(芳賀・益子・茂木・市貝)共同で「芳賀地区消費生活センター」が設立されました。町民の活用状況を伺います。

また、政府は全国の消費生活センターを拠点に、生涯を通じて教育を受けられる態勢整備を目

### 芳賀地区消費生活センター 町民の活用状況は?

**答**

指す基本方針を6月28日に閣議決定しました。今後の推進計画取りまとめに町はどのようにかわるのか伺います。

町長 消費者安全法に基づき、「芳賀地区消費生活センター」を開設し、2人の専門相談員が商品トラブルの苦情処理及び紛争解決に対応しています。単純には比較できませんが、来所して専門相談員から直接アドバイスを得る相談者の割合は過去3か年の平均と比較して7.5ポイント増加していることから相談者が利用しやすい環境になっているものと認識しています。多様化、複雑化する消費者問題に対する不安や苦情、被害相談に際し、問題解決のための助言や情報提供ができる体制が整備されたことを町民の皆さんに今後とも広く周知していきます。

消費者教育推進計画策定に当たっては、県が今後策定する同計画の内容を確認し、共同設立の三町と連携しながら、芳賀町の実情に即した施策を策定していきます。





## 町議会を身近に



小林 孝之さん  
(上延生)

皆さんは町議会を傍聴したことはありますか？ 一度もないという人が大多数ではないでしょうか。社会人になって時間を割いて議会の傍聴に行くのは大変難しいのが現状です。

では、NHKの国会中継はどうでしょう。私は少し見始めても途中でチャンネルを替えてしまうことが良くあります。国会の審議内容が自分にどのように影響があるのか分からなくて身近に感じられないのです。

町議会では私たち町民に直接影響がある議題が審議されています。少し前なら冒頭に書いた理由で町議会の傍聴を諦めていましたが、今は芳賀チャンネルがあります。家にいても傍聴できます。しかし、国会と同じように難しい審議が続くのでは興味を持つ人は少ないと思います。審議の要点を分かりやすく解説をした「誰にでも分かる芳賀町政番組」の放送を臨みます。

## 新しい道路ができて

私は、農家に生まれ農業のことしか分かりませんが、四季折々の季節を感じながら自然と共にその季節にあった作物を栽培しています。芳賀町は何と言っても米麦や梨などの栽培が盛んな町です。特に田圃は土地改良が進められ大型農機具で大規模な農業を営む農家も少なくありません。

しかし、そんな芳賀町にも宇都宮茂木間をつなぐ広いバイパス道路が今年開通する予定です。バイパス道路ができるこ

とで、交通の便が良くなることは良いことですが、この道路が通ることで耕作しやすかった田圃が寸断され、農作業が効率的にできなくなってしまいました。

片側2車線の広い道路は車にとっては便利ですが、通学時にこの道路を横断して登下校する小中学生には危険な道路でもありますので、悲惨な交通事故が起らないように注意してほしいと思います。



穂山 安之さん  
(下高根沢)

## 今後の議会運営を考える



岡田 武さん  
(西水沼)

芳賀町に生まれ育って70有余年。我が芳賀町は1964年（昭和29年）に旧祖母井町・南高根沢村・水橋村の三町村が合併し、60年の歴史を刻んできた。当然芳賀町議会も同じ歴史を刻んできた。本町の発展に大きな足跡を遺してきたものと信じている1人であるが、最近の議会活動について若干疑問を感じていることも事実である。

それは前回の議会選挙の折、立候補者の定数割れによる無投票と言う前代未聞

の結果となったことである。

時代の流れの中で、今後の議会活動は如何にあるべきか、真剣に検討する必要性を痛切に感じたひとりである。

現在議員活動をするには自分の生活を守るだけの経済的な裏付けがなければ議員として活動が困難である。もっと若い人が活動できる議会運営（例えば土、日・夜間開会等）のあり方の検討等、今後の議会活動に期待したいものです。

# 議会日誌

平成25年

8月

- 6日・縣市町村トップセミナー（宇都宮市）
- 22日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 27日・水道運営協議会
- 28日・議会運営委員会
- 28日・議会全員協議会

9月

- 2日・郡議長会定例会  
・芳賀広域行政事務組合定例会
- 3日・第6回芳賀町議会定例会（～17日）
- 5日・教育民生常任委員会
- 7日・中学校体育祭
- 15日・小学校運動会
- 17日・議会運営委員会  
・広報常任委員会
- 21日・町敬老祭
- 26日・中部環境衛生事務組協議会定例会  
・芳賀中部上水道企業団定例会

10月

- 2日・郡正副議長視察研修（～4日）  
（熊本県）
- 3日・教育民生常任委員会行政視察（～4）  
（宮城県仙台市）
- 13日・町民大運動会
- 15日・総務常任委員会行政視察（～16日）
- 21日・議会議員全員協議会
- 23日・産業建設常任委員会行政視察（～24日）  
（高根沢町・福島県喜多方市）
- 23日・LRT要望書提出（宇都宮市）
- 25日・商工会と立地企業との交流会



## 議会だよりの表紙写真を募集！

芳賀町の「議会だより」は、年4回と随時に臨時号を発行し、町内各戸や関係機関へ配布しております。

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集いたします。

テーマ「元気な芳賀町」（人物・風景等は問いません。）  
応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント（L版以上）またはデジタルデータ（タテ型）
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得て応募してください。
- ・応募の際は、住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。



### 審査方法

芳賀町議会広報常任委員会にて審査します。  
応募締め切り 平成26年1月17日（金）

応募先 芳賀町議会事務局

### その他

採用者には粗品を進呈します。  
次号は2月発行予定です。



芳賀チャンネルも見てね!!

〈次回の定例会開催予定日は12月3日（火）です〉

## みんなで議会を傍聴しましょう

※議会定例会をその日の20:00～と再放送を翌日14:00～に放映

## 編集室

東京オリンピックが決めた。日本の人々が希望に燃えるのは、とてもうれしいことである。

しかし祝賀ムードの一方で、五輪決定の翌日、原発事故「全員不起訴」という検察の判断が示された。国民の関心が「五輪決定」に集まる、このタイミングをねらったのだろうか、小さく報じられていた。これにより、誰の刑事責任も問われぬまま最終する公算が大きくなった。そして当の経営陣は関連会社に既に天下ついているということである。

何十万、何百万の人々が被曝し、今なお収束できない福島第1原発を安倍首相は「状況は今も完全にコントロール下にある。健康被害はない。汚染は外に洩れていない。」と言っていた。

そして、原発再稼働、新設承認、海外輸出と原発利権を拡大させている。しかもそのつけは全て国民が払う。原発を造って儲け、事故処理で儲け、除染で儲けて、廃炉でまた儲ける。そして値上げに増税である。一体この国はどうしてしまったのか。諦めているのか物言わぬ国民もそろそろ覚醒する時である。

（議会広報常任委員会

委員 水沼 孝夫）